

## ウエイトカヌー部インターハイ出場決める

# 総体で大きな収穫

熱く燃えた総体が終了した。今年、ウエイト部から環境3年小川君、山本君、食品3年遠藤君、植物2年小川君、食品2年吾郷君の計5名のインターハイ出場が決定した。  
カヌー部からは、植物2年鎌田君、動物2年川谷君、動物3年飯塚さん、動物2年吉川さんがインターハイ出場を決めた。両部ともインターハイに向けて熱く厳しい練習をおこなっている。



動物科科学科3年原彩香さんが競歩で5位入賞を果たした。本校陸上部からは、全国一位を輩出した過去があるが、近年は停滞気味であったので、原さんの活躍に刺激を受けての古豪復活に期待が膨らんだ。

さらに今年、陸上部が久しぶりに快挙を成し遂げた。

私たちは今、部員31名と4人のマネージャーと共に夏に向けて頑張っています。夏の大会が3年生にとっては最後の大会です。私たちのチームは3年生が3人しかいません。そのせいで、先輩と後輩がとも仲良く、どのチームにも負けにくいくらい良いチームだと思います。とてもきつい練習も励ましながら頑張っていました。  
夏の大会まで残り1カ月をきつたので1分1秒でも無駄のない練習をして

## 野球部夏本番！ 「夏の大会に向けて」 主将環境3年黒崎君



少しでも上手くなって、今まで支えていただいた親や先生方、地域の人に喜ばれるようなプレーができるように頑張りたいと思います。  
私は今のチームが大好きです。もう少しで終わると思うと悲しいです。この最高のチームで少しでも長く野球ができるように、まずは1勝を目指して精一杯頑張りたいと思うので、どうか応援宜しくお願いいたします。  
野球部主将 3年環境科学科 黒崎 直樹

## 入賞を果たした 原彩香さんの感想

私は六年間陸上競技を続けてきて、総体まで仲間たちと一緒に陸上競技をやってきて感動で胸いっぱいですが、少し不安がありました。競歩の練習を十分に積んでいなかったということ、そして、競歩の直前に400mのレースがあり体の疲労があるというところ、この二つが私を不安にさせました。しかし、競技の中で同級生や後輩、先生方の応援に後押しされ、ゴールすることが出来ました。5位入賞で総体の学校得点を4点取り、学校に貢献することができてよかったです。  
六年間やってきた部活から学んだこと、それは「生きていること、それは陸上競

## 顧問談

技だと私は思います。普段から練習を真面目に取り組んだ結果だと思えます。頑張ったぶんだけ結果に出てくるのが陸上競技の良いところです。この度の入賞は竹山、野田、原の三人で獲得したのもとも言えます。



インターハイ出場を決めたカヌー部部員

## 部活を終えて 各部主将の感想

**卓球部**  
総体では目標としていた1回戦勝利を成し遂げることができよかったです。個人戦でも選手一人一人が精一杯戦ったので満足のいく大会となりました。

## 男子バドミントン部

結果としては残念なものでしたが、選手は最後まで諦めずに戦っていました。

## 女子バドミントン部

今回の総体は3年生にとつて最後の大会でした。結果はそれぞれですが、ベストの状態

## 態で大会に挑めました。

とこころいきました。

## サッカー部

自分たちの実力を全て出し切れ一杯やりました。

## 剣道部

次の大会では勝利を目指し頑張りたいです。

## ソフトテニス部

チーム一丸となって全員が最後まで集中を切らさず頑張りました。心に残る大会でした。

## カヌー部

試合には勝てず残念な結果でしたが、内容は良かったと思います。沢山の応援本当にありがとうございます。

## 陸上部

1年生は先を見て行動。2年生は全員が自己新。3年生に嬉しいプレゼントをありがとう。これからも自分たちのために全力疾走を！

## 校長先生の言葉

「ゴミを両手で受けとめて

学校長 佐野 明

三年前の新生生の言葉で印象的だったのは、「出農は、きれいで広くて気持ちいい」と、「実習は意欲的に取り組めば、もっと面白くなるのに、真面目に取り組んで欲しい」と。

今年の新生生の印象的な言葉は、「出農は、協力して実習ができて楽しい。一人一人が成長できる学校です」と、「普通教科の取り組みが弱い、もっと真剣に勉強して欲しい。先生方も勉強の仕方などを教えて欲しい」と。

これらを読むと、三年間で、生徒の認める出農の良さがレベルアップし、生徒の友達に対する要求もレベルアップし、生徒一人一人皆がレベルアップしていることがよく分かります。

四年前に、廊下の小さなゴミを拾い集め、それをゴミ箱に捨てようと教室に入ると、一人の生徒が、そのゴミを両手の平で受け取ったのには感心しました。

先日、同じような場面、実習中の生徒がゴミを受け取り、私の目の先にある満杯のゴミ箱を見ながら、自分のせいでもないのに、「ゴミを捨てないでいてすみません」と詫言ったのにも大いに感心しました。人は、このようにありたいものです。

# 7月になり、夏休みを前に

今年も、PTA活動の地域巡視研修会があります。自分自身が今の子どもたちの状況を分らず講師の先生の話や聞くことが毎年、勉強になります。

前回の夜の市内巡視の時、講師の先生方とこの先の公園でよく子どもたちが遊んでいると話をしていると、その場に数人の生徒達がおり、早く帰るよう注意をされました。

このよつな地道な活動も子どもたちのためには必要なことだと改めて感じさせられました。

今年行われる研修会の講話は、川口先生の「心と体の健康、食べることはすばらしい」という演題であり、食とスポーツに関する内容とこのことで子どもがクラブ活動をしており、非常に興味を持っております。

八月になりますと、学校緑化事業の一環で除草作業や野外運動器具の掃除などPTAと生徒との作業があります。より多くの方々のご参加をお願い致します。

PTA副会長 飯塚 勝

## 7月の行事予定

日	曜	項 目
1	日	求人受付開始
2	月	期末考査(6/28より)
3	火	期末考査、避難訓練
4	水	
5	木	スポーツ大会、全校朝礼
6	金	スポーツ大会
7	土	CS
8	日	第一回英検2次
9	月	
10	火	農ク意見発表県大会(矢上)
11	水	CS
12	木	
13	金	SC来校
14	土	CS
15	日	
16	月	海の日
17	火	
18	水	農クプロジェクト発表県大会、CS
19	木	
20	金	終業式(8/27まで夏休み)
21	土	PTA地域巡視研修会
22	日	
23	月	
24	火	農ク平板測量県大会(翔陽)
25	水	
26	木	農ク鑑定競技県大会(本校)
27	金	農業情報処理県大会(松農)
28	土	
29	日	全国高総文祭(8/2まで)
30	月	
31	火	

### 農ク県大会出場者決まる

#### 校内意見発表

農業への熱い思いを語る意見発表の校内大会が行われました。今回は3区分の最優秀を全学年で分け合う結果になりました。生徒が選ぶゴールデンスピッチ賞には動物科学科3年松原友梨奈さんが受賞しました。各区分の最優秀賞者は7月10日に矢上高校でおこなわれる県大会に出場します。本校代表は次の通りです。

- 食料区分 動物科学科1年 鎌田亜香音さん 「いただきます」
- 環境区分 植物科学科2年 和田紗季さん 「現在のわたし」
- 文化・生活区分 動物科学科3年 松原友梨奈さん 「今、伝えたいこと」

### プロジェクト発表

卒業論文で取組んできたプロジェクトの内容発表が行われました。年々充実した内容となっており今年度も甲乙付けがたい発表となりました。



緊張と不安の中、発表する生徒

#### 食料区分 動物科学科3年

今川順平君、勝部勇亮君、土肥史織さん、松原史佳さん  
「未開発資源を利用した和牛肥育」。

#### 環境区分 環境科学科3年飯塚

義信君、持田和哉君  
「学校緑化」。

#### 文化・生活区分 植物科学科3年

足立絢一君、木色秋香さん、堀内有美さん、持田祥吾君  
「ハマボウフの増殖と園芸化利用」。  
以上の受賞プロジェクトは7月18日に松江農林高校でおこなわれる県大会に出場し全国大会を目指します。

### 家畜審査競技

#### 全国大会への出場決める

6月18日に鳥根県畜産技術センターで家畜審査競技がおこなわれました。最優秀 肉用牛の部 動物科学科2年 新宮大介君。

#### 鑑定競技

鑑定競技校内大会が19日におこなわれました。部門は農業園芸・畜産・食品科学 農業土木・造園の6部門で、校内代表者はまだ決定していません。

### 子どもを知る

#### 手がかりに!

PTA地域巡視研修会案内  
地域における青少年の問題行動の現状を認識して、家庭や地域の教育力向上につなげようという目的で研修会を開催します。ぜひ、ご参加ください。詳細、参加申し込みは生徒を通じてすでに配布しておりますのでご確認ください。

日時 七月二十一日(土)

午後六時三十分

八時三十分

場所 出雲市総合

ポランティアセンター

演題 講話

「心と体の健康、食べることは素晴らしい」

講話

「地域の青少年の問題行動の実例に学ぶ親の責任と役割」

講師 川口美喜子氏

鳥根大学医学部臨床栄養部副部長

出雲警察署少年補導職員

### 編集後記

グラウンド脇にきれいな花が咲き誇っています。牛頭川から自転車小屋へ向かう道が舗装されました。生徒を迎える環境が少しずつ整備されてきています。「環境は人を作る」という言葉があるように、本校のきれいな環境で、きれいな心を持った人間に育ってほしいものです。  
(真)